



新しい区長さんが決定 平成 25 年区長会

平成 25 年の各地区の区長さんが決まりました。また、2 月 15 日に行われた区長会で、松前町区長会長に大西淳弘さん(写真中)、副会長に三好清春さん(右)と田中安男さん(左)が選ばれました。各地区の区長さんは下表の通りです(敬称略)。

行政区	氏名	電話
南黒田	上田 陽一	984-2987
北黒田	三好 清春	984-9066
宗意原	灘野 保	984-3448
新立	仲島 政夫	984-1069
本村	三好 孝善	984-3001
筒井	村井 好明	984-4163
社宅	新井 勉	985-2533
徳丸	後藤 浩二	090-1005-3670
中川原	加藤 賢司	985-0438
出作	神野 英昭	984-4897
神崎	高石 通	985-0370
鶴吉	高藤 邦昭	984-0514
横田	篠崎 保	946-7138
大溝	田中 安男	984-9301
永田	水口 勉	984-5405
東古泉	三好 國榮	984-3560
大間	大政 一夫	080-2986-7185
上高柳	足立 武政	984-2964
恵久美	大西 淳弘	984-1253
昌農内	喜安 光男	984-9036
西高柳	宇野 洋一	984-8091
西古泉	勝見 正史	090-7620-1522
北川原	三好 勝志	984-7936
塩屋	木村 博	985-0595



団場で準優勝 個人で河内豊和さんが優勝、池内力さんが準優勝 愛媛県農業機械安全利用技能競技大会

松前町農業機械士会(岡井剛太郎会長他 8 人)は 2 月 8 日、えひめ中央農協東温カントリーエレベーターで行われた愛媛県農業機械安全利用技能競技大会に出場し、団体の部で準優勝しました。個人の部では、牽引運転部門で河内豊和さん=西古泉=が優勝、トラクター始業点検部門で池内力さん=神崎=が準優勝しました。



息の合ったペアプレーで熱戦 松前町ダブルス卓球大会

第 1 回松前町ダブルス卓球大会は 2 月 10 日、松前公園体育館で開かれ、20 代から 80 代までの男女 144 人、48 チームが熱戦を繰り広げました。結果は次の通りです(敬称略)。

▶1位グループ①北条クラブA(井上絢介、河野伊麻里、藤川みゆ)②スクラッチ(三宅やすき、二宮朗憲、鷺崎加代)③卓楽会(猪木宗器、金子美治、林貞子)③スカッシュA(太田和文、児玉奈々子、宝迫八重子) ▶2位グループ①つばき愛卓会(酒井靖浩、日吉直哉、布村千恵)②フェニックスA(沖井康男、三好崇司、本田いづみ) ▶3位グループ①融和クラブA(前田展男、新ナエ、清水繁子)②ラビットA(植園勇、高谷良一、鎌田ふさみ) ▶4位グループ①フェニックスB(宝光山富士男、崎山達也、越智かな)②内子卓球C(都築博、白石國男、橋田里美)



藤野 旭さん
ふじの・あきら
医師 79 歳 筒井



藤野旭さんが医療功労賞を受賞 医療功労賞

長年にわたり地域医療や福祉に貢献した医療関係者に贈られる第 41 回医療功労賞(読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、エーザイ協賛)を、小児科医の藤野旭さん=筒井=が受賞しました。

「身に余る光栄です。皆さんの協力のおかげです」
周囲に感謝しながら、笑顔を見せます。
徳島大学医学部付属病院で 8 年間勤務した後、昭和 41 年に義父の医院を継いだ藤野さん。当時は町内でただ一人の小児科医。地域から、夫婦で農業や漁業に携わる世帯も多かったため、診療時間外でも対応できるように、妻の十志さんと二人三脚で受入

制を整えていました。また、医院まで来られない家庭には、風雨を問わず往診しました。

町で乳幼児を検診する嘱託医を 46 年間務め、疾病の早期発見、早期治療に尽力。親子の心のケアも行ってきました。

平成 17 年に医院での診療は長男に委ね、平成 24 年に町の乳幼児健診嘱託医は退任しましたが、地域で乳幼児を抱いた親子を見掛けると、気軽に声を掛けて成長を見守っています。小学校や幼稚園で学校医は現在も続けています。

「あたたかい町に、医療で恩返しをしたい」
79 歳の現役医師は、気力と体力の限り、松前町に寄り添い続けます。



元気が出るまちづくりを目指して 松前町公民館研究大会・生涯学習推進大会

「第 34 回松前町公民館研究大会・平成 24 年度松前町生涯学習推進大会」は 2 月 3 日、松前総合文化センターで開かれ、約 300 人が公民館活動や生涯学習について理解を深めました。

シンポジウムでは、中予教育事務所社会教育課の田中弘課長をコーディネーターに迎え、活力ある地域づくりについて 3 分館が事例を発表し、会場の参加者と意見を交わしました。

神崎分館は「勇気・参加・体験、何事にもチャレンジする」というテーマで行ってきた活動状況を報告。池内満分館主事は「参加してよかったと思ってもらえるような、思い出と思いやりの活動を続けたい」と述べました。

本村分館は、歩こう会やミニ運動会など、公民館活動の原点を「ふれあいづくり」として取り組んだ様子を紹介。宮崎章分館主事は「コンパクトな地区の特性を生かし、人情味あふれるふれあい行事を通して心の故郷になるようにしたい」と述べました。

西高柳分館は、ふれあい三大行事と秋祭りを紹介。古参の人と転入してきた人とのふれあいの場には分館活動があることをふまえ、田原和登分館主事は「昔のよいところを取り入れ、新しいことにチャレンジして分館活動を活性化していきたい」と述べました。

記念講演では、『みのもんたの朝ズバッ!!』でおなじみの杉尾秀哉キャスターが、テレビの裏話から今後の日本の動向まで幅広く語り、会場を沸かせていました。



④「報道の現場からこれからの日本を考える」と題して行われた杉尾キャスターの講演 ⑤左から杉尾秀哉キャスター、シンポジウムで事例を発表した池内満主事、宮崎章主事、田原和登主事

平成 24 年度松前町公民館活動功労者表彰の受賞者(分館役員 5 年以上) 弓立光貞(徳丸)、藤田常和(中川原)、山内佳広(出作)、篠崎正幸(横田)、古谷修蔵(永田)、森下昌隆(東古泉)、奥村英夫(北黒田)、岩井睦(同)、秦野貞次郎(筒井)、常盤喜美子(同)、岡野豊志(大間)、勝見正史(西古泉)、住田博恭(北川原) (敬称略)